

大手町ビル



仲通りから連続し、建物1階中央部を南北に貫く長さ約50mのメインエントランス通路。床面は仲通りなどで用いられているアルゼンチン斑岩が敷設されている



建物1階を東西に貫通する約200mの通路では、天井の建築化照明により地明かりが確保されている

大丸有地区を貫く仲通りに にぎわいを与えるゲートビル

「大手町」「丸の内」「有楽町」の最初の一文字を取って「大丸有」と呼ばれる、江戸時代に武家地だったこの地区は、1894年に初めての近代的オフィスビル「三菱第一号館」が竣工。その後、赤レンガ造りのビルが次々と建設され、そのまち並みは「一丁^{ロンドン}倫敦」と呼ばれた。戦後、高度経済成長期を迎え

ると、オフィス需要は急激に高まり、大規模オフィスビルへの建て替えが始った。また、戦前に官公庁街があった大手町では、1955年以降、国有地が払い下げられ、グローバルな金融センターやメディア企業が集積するビルが林立する地区になった。三菱地所株式会社は、大丸有地区を南北に縦断する仲通りを「アメニティ・にぎわいの軸」と捉え、公民協調により約120haのまち

全体で「新しい価値」「魅力とにぎわい」の創造に取り組んでいる。しかし、仲通りを有楽町から神田に至るまでひとつなぎにする際に壁のように存在するビルがあった。1958年に竣工した大手町ビルである。三菱地所は2018～22年にかけて、当ビルの大規模リノベーションを実施。中央部の貫通道路を屋内外から整備し、回遊動線を確保しながら景観の連続が図られた。



大丸有地区におけるスマートシティのプロジェクトとして、丸の内仲通りなどで行われた自動搬送ロボットによる走行・販売の実証実験[※]。丸の内仲通りでの自動搬送ロボット(左)、カプセルトイの販売(右上)、飲食物の販売(右下)のようす。

※国土交通省都市局 令和4年度 スマートシティ実装化支援事業の採択を受け
2022年12月1日～2023年2月4日実施 画像提供:一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会





大規模リノベーションによる「100年ビル」への挑戦

三菱地所株式会社は、2002年の「丸ビル」建て替えを皮切りに、大丸有地区で数多くの再開発プロジェクトに取り組んできた。今回の大手町ビルは建て替えではなくリノベーションによるハード・ソフト両面の機能更新を図ることにより、多様なテナントニーズに対応。同時に既存ストックの活用と歴史的景観の保全という社会的な要請にも応えている。

東西約200mに広がる大手町ビルは大名小路に面する東側を東京駅や三菱一号美術館にも用いられている「レンガ」を基調に、日比谷通りに面する西側は皇居の堀や二重橋を想起させる“石垣”をモチーフとするデザインとしている。また、仲通りが貫通するビル中央部は“通り抜け感”を演出するガラス素材で構成している。大手町ビルは大規模フロアプレートでありながら、小割の柱スパンや長廊下という小割貸し付けに適したフロア形状をしている。この優位性を活かしてビル東側を「LABゾーン」と位置付け、多くのスタートアップ企業や大企業の新規事業開発部門などの集積が図られている。このため東側の内装色をグレー基調とし、色温度の高い照明空間とされている。また、7階の中央部にはビル就業者が自由に使えるラウンジ（北側96席、南側40席）が設けられ、丸の内仲通りを一望できるテラスも設置された。

さらに、これまで設備スペースとして利用していた屋上空間を「大手町ビルSKYLAB」としてビル就業者を中心としたワーカーに開放。周囲が高層ビルに囲まれた谷間空間を現代的で都市的な空中の庭園と捉え、屋外利用も可能なワークプレイスとして整備された。面積にして約4,000m²、長さ200mにおよぶ広大な空間を4つの場（WORK / LOUNGE / LAWN / FARM）に分け、それらを動線をつないでいる。ワークスペースのウッドデッキやLOUNGEのカウンター下には建築化照明が設けられ、都市の空間を楽しむ発見と実験の場所となることが期待されている。



西側ファサード 東側ファサード

大手町ビル
 ■リノベーション工事
 所在地／東京都千代田区大手町
 事業主／三菱地所株式会社
 外装設計・監理／株式会社三菱地所設計
 建築設計／株式会社メック・デザイン・インターナショナル
 設備設計／株式会社三菱地所設計
 監理／株式会社三菱地所設計、三菱地所プロパティマネジメント株式会社
 建築工事／大成建設株式会社
 電気工事／東光電気工事株式会社、株式会社弘電社
 リノベーション工／2022年5月



屋上のLOUNGEエリア



一般参拝が可能になった「大手町観世音菩薩像」



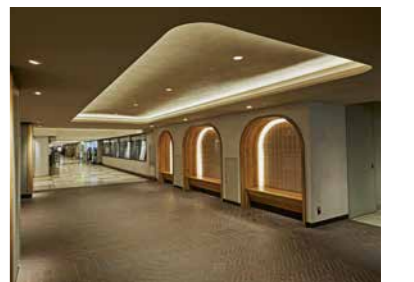
ビル就業者向けの共用ラウンジ(7階)



仲通りが見渡せる共用テラス(7階)

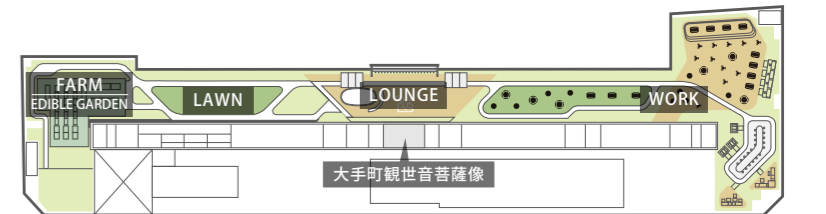


「LABゾーン」のエレベーターホールではフロア図を「スペースプレーヤー」が投影



間接照明によってイメージが一新した地下2階

大手町ビルSKYLAB(屋上)



■大手町ビルSKYLAB
 事業主／三菱地所株式会社
 設計・監理／株式会社三菱地所設計
 設計協力／有限会社ソラ・アソシエイツ
 施工／大成建設株式会社、東光電気工事株式会社、第一工業株式会社、斎久工業株式会社
 オープン／2022年5月

- 主な納入設備**
- LEDスポットライト
 - LEDダウンライト
 - LEDシームレス建築化照明器具
 - スペースプレーヤー



◀ (上) 屋上の「大手町ビルSKYLAB」
 人数に合わせたワークプレイスが選択できるWORKエリア
 (下) 7階に設けられたやエリアワーカー(会員)向けの共用ラウンジ